

□ 「くらべる」ということについて ^{かんが}考えます。

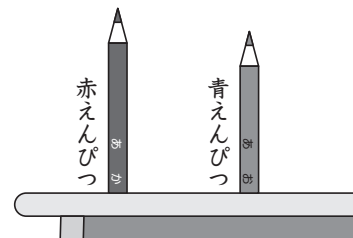
(1) ゆうくん、えりさん、たけしくんの 3人が、2つのものの ^{なが}長さを いろいろな ^{かた}くらべ方で ^{くらべて}くらべています。

3人が ^{くらべて}くらべているものは ^{どちら}どちらの方が ^{なが}長いでしょうか。

^{どう}答あん用紙の ^{なが}長い方の ^{なまえ}名前を ○で ^{かこみ}かこみましょう。

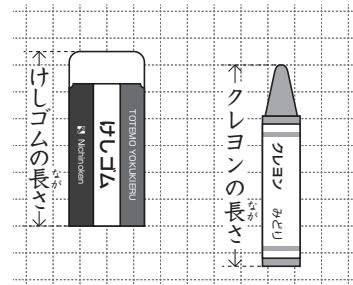
① 
ゆうくん

つくえの ^{うえ}上に ^{あか}赤えんぴつと ^{あお}青えんぴつを ^{たて}立てて、^{なが}長さを ^{くらべ}くらべたよ。



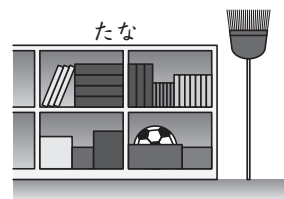
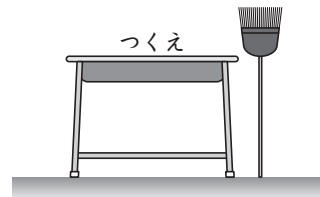
② 
えりさん

ます目の ^{うえ}上に ^{けし}けしゴムと ^{クレヨン}クレヨンをおいて、^{なが}長さを ^{くらべ}くらべたよ。

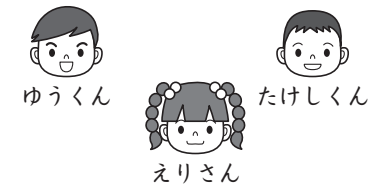


③ 
たけしくん

^{おな}同じ ^{ほうき}ほうきを ^{つか}つかって、^{つくえ}つくえと ^{たな}たなの ^{たか}高さを ^{くらべ}くらべたよ。



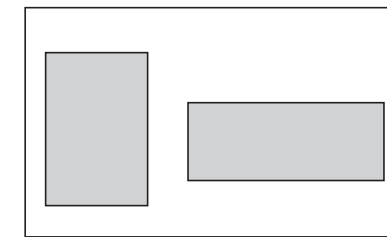
(2) ゆうくんも えりさんも たけしくんも、^{なが}長さを ^{ただしく}正しく ^{くらべ}くらべるために、^{なに}何か ^{くふう}くふうを ^{して}していましたね。



3人の ^{くらべ}くらべ方について、あなたは ^{どのよう}どのようなことに ^{気づ}気づきましたか。
また、^{気づ}気づいたことについて、^{どのよう}どのようなことを ^{かんが}考えましたか。
あなたが ^{気づ}気づいたり ^{かんが}考えたりしたことを ^{せつめい}せつめいしましょう。

(3) ^{こんど}こんどは ^{もの}ものの ^{ひろ}広さを ^{くらべ}くらべます。

1まいの ^が画用紙に、2つの ^{しか}しかくい ^{かた}かたちが ^かかかれています。



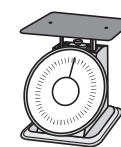
2つの ^{しか}しかくい ^{かた}かたちの ^{どちら}どちらの方が ^{ひろ}広いかを ^{くらべ}くらべます。

あなたなら、^{どのよう}どのように ^{して}して 2つの ^{しか}しかくい ^{かた}かたちの ^{ひろ}広さを ^{くらべ}くらべますか。あなたが ^{かんが}考えた ^{ほう}ほうを ^{せつめい}せつめいしましょう。

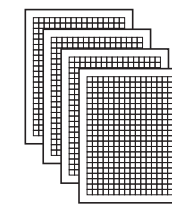
^{くらべ}くらべるときには、^{下の}下の ^{どうぐ}どうぐのうち、^{つか}つかいたいものは ^{どれ}どれでも ^{つか}つかう ^{こと}ことができます。下には ^{ない}ない ^{どうぐ}どうぐを ^{つか}つかう ^{こと}も ^{でき}できます。



はさみ



おもさを ^{はかる}はかるはかり



ます目の ^かかかれた紙



えんぴつ



ものさし

答え

I

(1) ① 赤えんぴつ 青えんぴつ	(2) 正しい ゆうくんは、つくえの上にえんぴつを立てて長さをくらべている。これは、えんぴつどうしのはしをそろえるためのくふうだと思う。
(1) ② けしゴム クレヨン	
(1) ③ つくえ たな	

(せつめい)

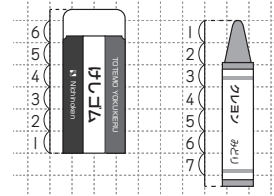
(3) **正しい** まず目のかかれた紙に、2つのしかくをうつしとり、まず目の数をかぞえてくらべる。

アンサーガイド

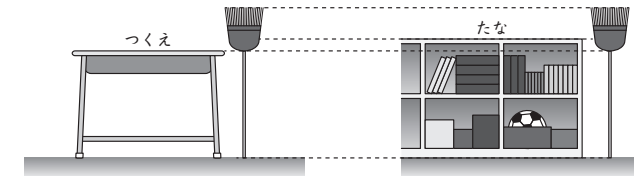
I **なが**や**ひろ**さをくらべるためのくらべ方を考えました。(1)、(2)では、長さをどのようにしてくらべることができるのかを考えました。3人のくらべ方には、それぞれどのようなよいところがあるでしょうか。また、(3)では、広さをくらべるくらべ方を考えました。長さどちがって、広さをくらべるには、横にならべただけでは正しくくらべられないときがあります。あなたが考えたくらべ方のほかに、どのようなくらべ方があるでしょうか。いろいろとさがしてみましょう。

(1)① つくえの上に立っているので、2本のえんぴつのはしはそろっています。ですから、えんぴつの先が上の方にある赤えんぴつの方が長いことがわかります。

② まず目の数をかぞえると、どちらの方が長いかがわかります。けしゴムは、下からかぞえると、6ますと少しあります。クレヨンは、上からかぞえると、7ますと少しあります。ですから、クレヨンの方が長いことがわかります。



③ つくえとたなのそれぞれいちばん上のところが、ほうきのどこにくるのかをくらべます。つぎの図より、「たなの高さ」の方が、「つくえの高さ」よりも長いことがわかります。



(2) ゆうくん、えりさん、たけしくんの3人は、長さをくらべるときに、どのようにくふうしていたのかを考えてみましょう。すると、つぎのようなせつめいをすることができます。

- ゆうくんは、つくえの上にえんぴつを立てて長さをくらべている。これは、えんぴつどうしのはしをそろえるためのくふうだと思う。
- えりさんは、まず目の上にくらべるものをおいて長さをくらべている。まず目のはばはどこも同じなので、まず目をつかえば、ものの長さは、まず目いくつ分なのであらわすことができる。
- たけしくんは、つくえとたなのように、ならべてくらべにくいものを、同じほうきをつけて長さをくらべている。この方ほうをつかうと、とおくはなれたところにあるものの長さも、くらべることができそう。

(3) 2つのものの広さをくらべるときには、重ねてみると、どちらが広いのかがわかります。でも、くらべるもののかたちによっては、重ねてみてもどちらが広いのかわからないときもあります。

たとえば、つぎのようなせつめいをすることができます。

- まず目のかかれた紙に、2つのしかくをうつしとり、まず目の数をかぞえてどちらが広いのかをくらべる。
- はさみをつかって、画用紙から2つのしかくを切りとり、はかりで重さをはかる。重い方が広さが広い。